

「地域の恵みを地域で食べよう！」
地産地消メールマガジン

平成22年2月9日発行 創刊号

◇ 目次 ◇

地産地消メールマガジンの創刊にあたり

1 注目情報

★「全国地産地消推進フォーラム2010」が開催されます（2月17日）

★平成22年度の予算概算決定の概要が公表されました

2 トピックス

★地元の食材をふんだんに使った優れたメニューを表彰！（農林水産省
生産局技術普及課）

3 各地のイベント等情報

♪ 編集後記

地産地消メールマガジンの創刊にあたり

今月から、「地域の恵みを地域で食べよう！」地産地消メールマガジンを
配信することとなりました。

現在、農業・農村は、所得の減少、生産者の減少・高齢化、後継者の不足、
耕作放棄地の増加などにより、疲弊の一途をたどっています。

農林水産省では、水・緑・環境を維持するとともに、農林漁業とその重要
なパートナーである食品産業を活性化して、「食と地域」を再生するため、
農業者が農産物の生産だけでなく、加工、流通、販売にも活動を広げて、雇
用の確保や所得の増大を図り、地域を豊かに元気にしていく「農山漁村の六
次産業化」を推進してまいります。

地産地消の取組は、生産者と消費者の結び付きを強め、農山漁村の六次産
業化を後押しするものです。多くの方々が、地元の農林水産物を美味しく味
わうための工夫を積み重ね、生産者と消費者との交流など地域の活動に発展
させています。

本メールマガジンが、各地域での農林水産物の積極的な活用のために、様
々な意見交換や情報交換の場を提供することができるよう工夫してまいりた
いと思います。ご愛読いただければ幸いです。

農林水産省生産局技術普及課

1 注目情報（農林水産省からのお知らせ）

★「全国地産地消推進フォーラム2010」が開催されます（2月17日）

来る2月17日（水）に、全国地産地消推進協議会の主催により、地産地
消の優れた取組の表彰やその活動報告を行う「全国地産地消推進フォーラ
ム2010」が開催されます。

農業者による地域の農産物の加工・販売のほか、学校給食で積極的に地
場産物を活用している取組、食品企業による地元食材を使った商品開発の

取組など、表彰の各受賞者から直接発表があります。是非ご参加ください。

【日時】平成22年2月17日（水）12:30～16:00

【場所】国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 小ホール

参加申込先：(社)全国農業改良普及支援協会（全国地産地消推進協議
会事務局）03-5561-9562

表彰結果及びフォーラムの参加申込みはこちら↓

http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/tisan_tisyo/t_forum/2010/index.html

【受賞者一覧】（フォーラムでは以下の各受賞者から発表があります）

『農林水産大臣賞』

- 地域振興部門 上賀茂特産野菜研究会（京都府京都市）
- 交流促進部門 農事組合法人 万葉の郷ぬかづか（滋賀県東近江市）

『全国地産地消推進協議会会長賞』

- みどりの食材連絡会（秋田県鹿角市）

『生産局長賞』

- 株式会社鐘崎（宮城県仙台市）
- 高根沢町立学校給食センター（栃木県塩谷郡高根沢町）
- 有限会社 清里ミルクプラント（山梨県北杜市）
- 農事組合法人 豆の木（福井県大野市）
- 由布院物産協会（大分県由布市）

★ 平成22年度の予算概算決定の概要が公表されました

昨年12月25日に、平成22年度農林水産予算概算決定の概要が公表されました。

- 平成22年度地産地消関連予算の概要はこちら
http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/tisan_tisyo/index.html
- 平成22年度農林水産予算概算決定の概要（農林水産省全体版）はこちら
<http://www.maff.go.jp/j/budget/2010/index.html>

2 トピックス

★ 地元の食材をふんだんに使った優れたメニューを表彰！（農林水産省生産局技術普及課）

農林水産省では、昨年12月、学校給食、社員食堂、外食・弁当等の各分野で地場農林水産物を活用しているメニューのコンテストを実施し、18件を表彰しました。

- ◇ 農林水産大臣賞：PFUライフエージェンシー株式会社（石川県かほく市）
社員食堂メニュー「自社農園千両茄子の肉はさみ揚げと加賀野菜炊き合わせ」
- ◇ 農林水産大臣賞：やすらぎ交差点協議会（大分県豊後大野市）
外食メニュー「やすらぎ定食（よくばりコロッケ、原木どんこ寿しなど）」
- ◇ 文部科学大臣賞：丸亀市綾歌学校給食センター（香川県丸亀市）
学校給食メニュー「今と昔 ふるさとの味 再発見！（ばらずし、れん

こんのあげもん、しょうゆ豆、月菜汁など)」。

表彰式当日は、大臣賞受賞者による事例発表のほか、女子栄養大学短期大学部教授の金田雅代氏やヴィライナワシロ総料理長の山際博美氏の記念講演が行われました。

受賞メニューの詳細はこちら
<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/gizyutu/091125.html>

3 各地のイベント等情報

★ 北海道女性農業者倶楽部（マンマのネットワーク）大縁会（北海道からのお知らせ）

農家の母さん達が、農家で伝承された食生活の知恵を生かし、農産加工品の製造販売にも積極的に取り組んでいます。『マンマの大縁会』では、農家の母さん達が「食べ物」を通して色々な方々との御縁を願い家庭食を基本に創り出した農産加工品の紹介と販売を行います。お誘い合わせの上ご参加ください。

テーマ 「食べて」「見て」「聴いて」「語って」マンマ起業の将来を考えよう！！

【日時】平成22年2月24日（水）10:00～15:00

【場所】ホテルモントレーエーデルホフ札幌 12Fルセルナホール
札幌市中央区北2条西1丁目-1（011-232-1777）

【内容】◆基調講演 「母ちゃん起業の頑張りどころ」
（講師（仮）：日本総研主任研究員 大澤 信一氏

◆マンマの商品紹介

◆モグモグタイム（マンマが商品化している商品のPR）

◆見本展示&即売会（抽選会もあります！）

【受付】当日受付も可能ですが、お席を確保できないこともありますので、事前に申し込みをお願いします。

問い合わせ先：北海道女性農業者倶楽部（マンマネットワーク）事務局 片山寿美子(090-6699-7807)

（北海道では、最新情報をお届けするメールマガジンを発行しています。北海道の「いま」を知りたい方、北海道に興味のある方、多くの方の購読をお待ちしています。（購読無料）

<http://www.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/index.html>

★ 直売施設間の連携促進の実証 ～都内3つの直売施設で実施～（農林水産省生産局技術普及課からのお知らせ）

地場産品だけでは品不足になりがちな都市部の直売施設。一方、豊富な商品があり、新たな売り先を求めている地方の直売施設。

地方直売施設と都市部直売施設の相互の課題を克服し、持続的な連携の方策を検討するため、千葉・和歌山・鹿児島直売施設が都内3カ所の直売施設で、農産物等を販売する連携活動を次のとおり行います。是非、お立ち寄りください。

☆「農家の野菜」烏山店（東京都世田谷区）

【日時】 2月7日（日）～2月14日（日）

【内容】 「道の駅富楽里（ふらり）とみやま」（千葉県南房総市）の特設コーナーを設置

☆ふれあいロード北池商店会（東京都豊島区）

【日時】 2月14日（日）、2月28日（日）

【内容】 「めっけもん広場」（和歌山県紀の川市）の農産物等を商店街の空き店舗で販売

☆武蔵野新鮮館（東京都武蔵野市）

【日時】 2月15日（月）～2月27日（土）、*2月21日を除く

【内容】 道の駅すえよし「四季祭市場」（鹿児島県曾於市）の特設コーナーを設置

本事業は、農林水産省補助事業により実施しています。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/tisan_tisyo/t_tyokubai_suisin/zisyo.html

問い合わせ先：株式会社流通研究所 担当：真鍋、森岡
TEL 0463-95-6361

★ 「農産物直売所・経営改善実証セミナー」の開催（農林水産省生産局技術普及課からのお知らせ）

経営改善に意欲あるモデル直売所3店舗について、販売・流通・運営等の専門家を活用した実証事業を行いました。その実証成果や顧客満足調査の分析結果を共有するセミナーを開催します。モデル店舗において開発した試作品などの試食交流会も実施します。

【日時】 平成22年3月5日（金）13:00～16:30（試作試食会は19:00まで）

【会場】 秋葉原UDX 4F（東京都千代田区）

【内容】 顧客満足調査報告、実証報告、意見交換、試作試食会等

【対象】 全国の農産物直売所運営者、農業関係者など

<http://ohrai.jp/gt/press/jdr028000002k4pj.html>

本事業は、農林水産省補助事業により実施しています。

問い合わせ先：（財）都市農山漁村交流活性化機構 03-4335-1983

★ 「地域に根ざした食育コンクール2009」の表彰式・活動発表会（農林水産省消費・安全局消費者情報官からのお知らせ）

国民運動としての「食育」は、食文化の継承、教育ファーム等の農林漁業体験活動の促進、地産地消の推進など、地域に根ざした取組が課題となっています。

このため、農林水産省の提唱により本コンクールを実施し、応募事例の中から農林水産大臣賞ほか22の表彰事例を選定し、その表彰式・活動発表会を次のとおり開催します。

【日時】 平成22年2月13日（土）10:30～16:00

【会場】 東京国際フォーラム ホールB7

<http://nipponsyokuiku.net/concour/index.html>

問い合わせ先：（社）農山漁村文化協会内

事務局 担当：豊田、大竹 TEL:03-3585-1144

★ 岡山県内各地で“牡蠣（かき）祭り”（岡山県からのお知らせ）

これから、県下各地でカキの試食や格安での販売が行われます！
今年も身入りがよく、ぷっくりと太った大粒のカキが味わえます。
ご家族やお友達と一緒に旬を迎えた岡山のカキをぜひご賞味ください！！

☆真魚市かきまつり

【日時】 2月14日（日）、21日（日） 7:00～12:00

【場所】 伊里漁協（備前市穂浪）

【内容】 カキ、海産物等の即売

問い合わせ先：伊里漁業協同組合 TEL：0869-67-0016

☆第6回かさおか鮮魚市カキ祭り

【日時】 2月21日(日) 9:00~14:00

【場所】 JA倉敷かさや笠岡営農センター (笠岡市平成町56)

【内容】 ・カキの詰め放題、焼きカキコーナー、マグロの解体販売
・応神太鼓ほかの演出、テント販売コーナー、消防車等の展示
・魚介類、殻付きカキ販売、カキ汁、かき飯など

問い合わせ先：笠岡市漁協 TEL：0865-67-2006

☆ひなせかき祭

【日時】 2月28日(日) 9:00~15:00

【場所】 日生町漁協「五味の市」周辺広場 (備前市日生町日生)

【内容】 ・殻付きカキ、むき身カキ、カキオコ(カキ入りお好み焼き)等の販売
・隣接市町村特産品販売(予定)

問い合わせ先：備前市商工観光課 TEL：0869-64-1832

★「地産地消・愛あるサポーター交流会」を開催(愛媛県からのお知らせ)

愛媛県内の「地産地消・愛あるサポーター」が一堂に会し、互いの取組等の情報交換や交流を行い、地産地消の更なる発展を目指します。

【日時】平成22年2月24日(水) 13:30~16:30

【場所】愛媛県武道館(愛媛県松山市市坪西町551)

問い合わせ先：愛媛県(東予地方局産業振興課、中予地方局産業振興課、南予地方局産業振興課)

TEL：0898-68-7322、089-909-8761、0895-22-5211

<http://www.aifood.jp/sys/img/news/192.pdf>

★「まつやま農林水産まつり」を開催(愛媛県松山市からのお知らせ)

松山市及びまつやま農林水産まつり実行委員会は、「第4回まつやま農林水産まつり」を開催します。

松山で生産される農林水産物やその加工品の試食・展示即売を行うとともに、食育や地産地消など農林水産業に関わる各種情報の展示を行います。

【日時】平成22年2月20日(土) 10:00~16:00

21日(日) 9:00~15:00

【場所】アイテムえひめ(愛媛県松山市大可賀2丁目1-28)

【内容】農林水産業・畜産業の生産者団体による生鮮食品・加工品の販売、パネル展示、食育や食文化等の紹介、実演など

http://www.city.matsuyama.ehime.jp/nourinsuisan/1195897_1029.html

問い合わせ先：まつやま農林水産まつり実行委員会事務局(松山市農林水産課) TEL：089-948-6565

★ おいしさの手をつなごう(マルシェ・ジャポン)(農林水産省総合食料局食品産業振興課からのお知らせ)

2009年秋、東京や大阪などの大都市に登場した都市住民参加型市場「マルシェ・ジャポン」が2010年も元気にスタートしました。

2010年は『おいしさの手をつなごう』をキャッチ・フレーズに、「食材を作る人」と「それを料理して食べる人」の出会い場を提供していきます。

先日、訪れたマルシェで、ごぼうのような黒い大根を見つけました。農家の方に聞いたら、とても辛いので子供のいる私には向いていないと甘味大根をすすめてくれました。そんな見たことのない野菜との出会いや楽しい会話もマルシェの魅力の一つです。みなさんも、マルシェでいつもと少し違うお買い物をお楽しみ下さい。

マルシェ・ジャポンの開催情報はこちら

♪編集後記

「地産地消に関心を持つ方々の情報交換を進め、連携を深めたい」という思いから、メールマガジンを発行することとしました。

地産地消に関する質問やご意見もいただきながら、メルマガをより読みやすく内容も充実していきたいと考えています。

地産地消が生産者と消費者の「顔が見え、話ができる」関係づくりであるように、このメールマガジンも書く人と読む人、読む人と読む人が身近に感じられるような関係になればと思っています。

どうぞよろしくお願い致します。

◇ バックナンバーはこちら

http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/tisan_tisyo/t_mailmag/index.html

◇ 本メルマガに対するご意見はこちら

<https://www.contact.maff.go.jp/voice/sogo.html>

◇ メールマガジンの配信登録・解除はこちら

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

◇ PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省のホームページ (<http://www.maff.go.jp/j/use/link.html>) にてAdobe Readerをダウンロードしてください。

「地域の恵みを地域で食べよう！」地産地消メールマガジン編集部

農林水産省生産局技術普及課

◇ 地産地消ホームページ（農林水産省HP）

http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/tisan_tisyo/

◇ 「Eat Local～地元を食べよう～」

<http://www.jimototaberu.net/>